

あなたの感性で向日市を表現してみませんか 第10回 向日市観光写真コンテスト作品募集



第9回向日市観光写真コンテスト市長賞作品
「竹林の小径」本多啓司さん(寺戸町)

このコンテストは豊かな表情で語りかける向日市の素顔を表現した新鮮な写真作品を市内外から募集するものです。採用された作品は、市の観光案内など向日市のPRに活用します。

応募期間/9月1日(金)~11月30日(木)
(11月30日の消印有効)

- テーマ/向日市の「自然」「祭」「伝統行事」「食」「暮らし」「まちなみ」「史跡」「イベント」などを題材にし、向日市の魅力を表現した作品
- 応募資格/アマチュアに限ります。
- 応募規定/カラープリントまたはモノクロプリント四つ切り・ワイド四つ切り、単体写真で、未発表のものに限ります。デジタル写真は、規定のサイズのプリントで応募。FD、PCカードなどではご応募いただけません。
- 応募方法/題名、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、電話番号、撮影年月日・場所、原稿の種類などを書いた用紙を作品の裏に貼り、郵送または直接産業振興課へ。
- 審査日程/12月中旬
- 審査員/審査委員長・山本建三さん(写真家)ほか
- 発表/本人に通知するとともに「広報むこう」に掲載
- 表彰/大賞(向日市長賞)1点(賞状・楯・賞金3万円)、推薦2点(賞状・楯・賞金1万円)、特選6点、入選10点以内、佳作10点以内
- 展示/市役所1階ロビー(平成19年1月)ほか予定
- 作品送付先/〒617-8665 向日市 産業振興課商工観光係内「第10回向日市観光写真コンテスト」係

■主催 向日市、向日市観光協会 ■後援 向日市商工会、向日市民憲章推進協議会、京都中央農業協同組合向日支店、(社)京都府観光連盟、京都新聞社、歴史街道推進協議会 ■協賛 富士フィルムイメージング(株)

●お問い合わせ 向日市観光協会(産業振興課商工観光係・内線241)

男女共同参画週間 6月23日~29日 「参画で 職場に活気 家庭にゆとり」

男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる、男女共同参画社会の実現をめざして、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。

期間中、国や地方公共団体では、様々な行事や広報活動を展開します。向日市は、6月17日に記念講演会を行います。

男女共同参画週間記念講演会

「自分らしく働き続けるために」

6月17日(土)午後2時~4時 市民会館

講師:福沢 恵子さん(東京家政大学助教授)

これから就職する方、いま仕事をしている方、そして再就職を希望する方などを対象に、ジェンダー(社会的性差)の視点から働くことの意味を共に考えます。

- 定員/60人
- 保育/1歳~就学前(定員5人)。6月9日(金)までに要予約
- 申込み/政策協働課(内線280)へ。定員になり次第締め切ります。

主催:向日市・(財)21世紀職業財団



【講師プロフィール】

福沢 恵子さん
1983年早稲田大学政治経済学部卒。朝日新聞記者を経て1990年にフリーのジャーナリストに。東京家政大学人間文化研究所助教授。「女性と仕事」を中心テーマに執筆や講演を行う。

●お問い合わせ 政策協働課(内線280)



内閣府男女共同参画局
広報ポスター

向日市障害者計画策定委員会 市民委員募集



この策定委員会は、障害者の総合的な福祉施策を計画的に推進し、障害者基本法に基づく障害者基本計画を策定するために設置するもので、本市の障害者福祉施策の今後のあり方を審議していただきます。

- 対象者/向日市在住で障害者福祉に関心のある方
- 募集人数/2人
- 任期/委嘱の日(平成18年7月)から2年間
- 開催予定/年3~4回(平日の午後を基本とします)

●お問い合わせ 障害者高齢者支援課(内線307、☎932-0800、電子メールshien@city.muko.lg.jp)



まちの話題

物集女車塚古墳石室の一般公開 小学生や歴史ファン約700人が見学



▲天井の石のあまりの大きさに驚く子どもたち

恒例となった物集女車塚古墳石室の一般公開が5月22日から26日まで行われ、小学生や歴史ファン約700人が見学に訪れました。

見学者らは普段は見ることのできない古墳の石室に入ると、石棺や、天井の石などを興味深く観察していました。担当職員から説明を受けると、「石室の中はどうして涼しいのか」「こんなに大きな石をどうやって運んできたのか」など熱心に質問していました。

総務省近畿管区行政評価局長表彰 山口和三郎さんが受賞

5月19日、行政相談委員の山口和三郎さんが、長年の行政相談委員としての苦情解決と行政運営の改善に尽力された功績により、総務省近畿管区行政評価局長表彰を受賞されました。

山口さんは、平成5年に旧総務庁長官から行政相談委員に委嘱されて以来約13年にわたり、毎月2回の定例相談に相談員として参加され、住民の苦情・相談に積極的にあたられています。

市長雑感

合同水防演習に参加して

5月14日に国土交通省近畿地方整備局、京都府、関係市町村による合同の水防演習が、羽束師橋下流の河川敷で大規模に開催されました。

この水防演習に参加しましたが、それぞれの関係機関から2800人あまりの参加のもと、機敏な訓練が展開され、たいへん頼もしく感じたところです。

災害は、いつ起こるか分かりません。備えあれば憂いなしといいますが、その危機管理意識の重要性を痛感したところです。